

立花高等学校通信 ~ゆっくり・のんびり・まったり~	第2号 令和7年4月17日 文責 校長
---------------------------	---------------------------

パイルアップ

誕生日

4月15日は、本校68回目の創立記念日でした。つまり『お誕生日』ですね。幼少期はみんなが自分の誕生日を祝ってくれました。今では私は亡き両親に『生んでくれたことを感謝する日』だと思って毎年その日を過ごしています。

昭和32年4月15日、この和白丘の地に立花高校の前身となる『明林高等学校』が開校しました。終戦から12年、GHQによる教育介入に危機感を覚えた当時の公立学校の先生方が『理想の自由な学園を作ろう』と公立学校を早期退職し、その退職金を持ち寄って開校したのが明林高等学校でした。文字通り『手作り』の学校ですね。そしてその先生方が師匠と仰ぎ、この学園の創立者として迎えたのが、当時57歳だった安部清美です。安部清美の掲げた理念がこの学校の礎なのです。

学校は何のためにあるのでしょうか？『社会に出た時に困らないように我慢を覚える』ところではないと思っています。少なくとも立花は『本当の自由を学び合う』学校でありたいのです。大人はすぐに自由と責任・義務をセットに考えがちです。自由とセットになるべきは『自由の相互承認』と『自己決断に伴う責任』です。自分で考え自分で決めて自分で行動する、その結果を『人のせいにしない』ことが本校の柱です。そしてあなたが自由であることと同じように、他者の自由も重く尊いのです。お互いの自由を守るために対立したり、合意形成のために対話を重ねることが肝要です。

明林高校は、その後『第二高校』『立花女子高校』『立花高校』と名称を変えて現在に至っています。その間ずっと安部清美たちの掲げた『自由な学園』は変わっていないと思っています。厳しい学校です。自分で判断する事、人のせいにしないことは大人でもなかなかできることではありません。君たちはすごいことを学んでいるのです。

【来週の予定】

日 曜	学年	1	2	3	4	5	6	7
21(月)	全学年	月①	月②	月③	月④	○授業が始まります。お勉強が苦手でも肩身の狭い思いをする必要はありません。苦手なことでも一生懸命取り組む姿は美しいです。		
22(火)	全学年	暴走教室		火③	火④			
23(水)	全学年	水⑤	水⑥	火⑤	火⑥			
24(木)	全学年	交通安全教室		報告会	金⑥			
25(金)	全学年	歓迎遠足						

【ママズカフェ】来週の日替わりランチ

21(月)	22(火)	23(水)	24(木)	25(金)
ハヤシライス サラダ オニオンスープ	魚みそマヨ焼 和風和え みそ汁	焼きうどん ぎょうざ 中華スープ	チキンカツ 青葉のお浸し みそ汁	店休日

(今日のいいね!)



どうでも良すぎるお話しです。先日1年生のある先生の靴下の親指部分に穴が空いていました。ご自身もそれを愉快そうにお話し下さったので、私はそれを爆笑しながら愉快にいじりました。

その翌日、私の足裏の感触がどうにも良くありません。見ると大きな穴が空いていました。因果応報。人を笑う人は同じことで自分が笑われるのです。これぞ『人の靴下を笑う者は自分の靴下に泣く』(そんな格言はありませんが…)ですね。反省しました。